科目ナンバリング	U-LAS05 20036 LJ31						
授業科目名<英訳>	ラテン・アメリカ現代社会論 Latin America at Present			担当者所属職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 教授 村上 勇介		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

「ラテンアメリカの政治と社会」
日本にとって、どちらかといえば馴染みのうすい中南米あるいはラテンアメリカと総称される地域を対象に、その政治と社会の特徴について論ずる。歴史的な背景や経済面での構造的制約条件をふまえつつ、またその中で形成されてきた社会と文化にも着目しながら、現代の情勢と動向について考える。ラテンアメリカ全体の概説を行うことに主眼をおく。ラテンアメリカや政治学についての基礎知識がないことを前提に講ずる。

[到達目標]

・ラテンアメリカという地域に関する最低限の事柄を理解する。
・ラテンアメリカを起点として、海外のほかの地域や日本のことを考える。

[授業計画と内容]

以下のような課題について、１課題あたり１～３週の授業をする予定である。詳細は初回の授業で説明する。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

１．授業概要説明・序論
２．ラテンアメリカという地域
３．ラテンアメリカの自然と人
４．ラテンアメリカの歴史
５．ラテンアメリカの社会
６．ラテンアメリカの経済
７．ラテンアメリカの政治

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業内での取り組みやレポートなど）の評価による。具体的には、授業の進展に応じて課す小レポート（5つを予定）を60%、最終レポートを40%の割合で評価する。

[教科書]

村上勇介・出岡直也・山岡加奈子編 『現代ラテンアメリカ政治』（法律文化社、2025年）ISBN: 978-4-589-04447-1

ラテン・アメリカ現代社会論(2)へ続く↓↓↓

ラテン・アメリカ現代社会論(2)

[参考書等]

（参考書）

国本伊代・中川文雄編『ラテンアメリカ研究への招待［改定新版］』（新評論、2005年）ISBN:4-7948-0679-5

[授業外学修（予習・復習）等]

・日常生活に現れる「ラテンアメリカ」にちょっと関心をむけてみてください。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーは授業日（水曜日）の午後を原則とする。希望する場合は、希望日の前の週までに、公開しているメール宛に必ず事前の連絡をいれて希望を伝えること。

[主要授業科目（学部・学科名）]